

# 紀のわ

ki no wa

Vol. 11  
2026 March

# 3



—特集—

全国初! 直売所で  
専用チャンネル開設 |04|

総代懇談会Q&A |07|

●女性の集い・家の光大会 / 日本農業新聞県大会 |06|

その農産物、  
この人あり

Vol.  
09

# 農人

AGURI-BITO

40年以上の歴史を持つ下津町の「蔵出ししみかん」。生産者の一人である中山貴司さんは、ミカンの価格暴落を経験し、一度は専業農家の道を断念したものの、息子の就農を機に再起した。地域が生んだ伝統の栽培・貯蔵技術を守る担い手として、気候変動などへの対策を模索しながら、親子二人三脚で挑戦を続ける。

伝統の「蔵出ししみかん」守りたい  
一度は断念、息子と共に再起

## ミカン生産者

ながみね地域「海南市下津町」

下津柑橘部会 副部会長

中山 貴司 さん (61歳)

なか やま たか し

長男として家業を継ぐため農林大学校に入り、20歳で就農した中山さんだが、30歳を目前にしてミカンの価格暴落により、経営が窮地に追い込まれた。家族を養うためアルバイトを始め、やがてそれが本業となり、農業は収穫期に両親を手伝うのが精いっぱいだった。

いつかは専業農家に戻りたい——。そんな思いを抱いていた矢先、40歳でがんが見つかった。治療に専念する中で、息子の大地さんが農林大学校を卒業し、就農する決意を固めた。「就職を応援するつもりだったから驚いたが、同時にうれしかった。老後に向け栽培面積を縮小する考えだったが、息子が

やると決めたなら自分もしっかりしなければと奮い立った」と振り返る。大地さんの就農が、中山さんの心に火をつけた。

がんを克服し、父親や営農指導員から教えを受け専業農家として再スタートを切った中山さん。仕事を覚え直すのは簡単なものではなかったが、気持ちは常に前向きだった。

農業経営の柱はもちろん「蔵出ししもつみかん」で、普通温州の「林」「大津4号」「青島」など、貯蔵に適した品種を作る。他にも極早生・早生ミカンや中晩柑を計2・5畝で栽培している。

「蔵出ししもつみかん」は、12月中旬に完熟させて収穫したミカンで、糖度・酸度のバランスが良くなるまで土壁の蔵で熟成させる出荷方法。祖父が建てたという中山さんの土蔵は、12月になるとミカンが入った木箱でいっぱいになる。

「貯蔵期間中には、どうしてもいくつかは腐敗し、目方も減る。リスクはあるが、その分単

価は高いし、何より伝統を守りたい気持ち強い」と中山さん。近年は単価が上昇傾向でうれしい反面、温暖化の影響で貯蔵できる期間が年々短くなっていることが気がかりだという。

高品質で出荷するためには、収穫前の腐敗防止剤の散布や、風を通すための定期的な木箱の入れ替えは欠かせない。温暖化など気候変動への対策として、3年前には県発祥の新品種「植美」を導入した。浮き皮に強く、貯蔵用の晩生ミカンとして期待されていることから、今後が楽しみだという。

現在、中山さんは下津柑橘部会の副部会長を務め、トップセールスでは東京や新潟など消費地へ飛び回る。「平成31年には下津蔵出しみかんシステムが日本農業遺産に、昨年は有田・下津地域の石積み階段園みかんシステムが世界農業遺産に登録されともうれしい。これをさらなる知名度向上に生かしたい」と意欲を燃やす。毎日、大地さんと二人で仕事

する中では、喧嘩もするがよき相談相手であり、何かあれば意見を出し合って解決策を見出すという間柄だ。

「息子はまだまだ勉強することが多いが、よく頑張っているし、私も一緒に学んで成長していきたい」と中山さん。伝統「蔵出ししもつみかん」のブランドを守るべく、毎朝親子で畑へ向かう力強い足取りには、「早く父を追い抜いてほしい」という息子への期待と願いが込められている。



息子の大地さん(左)と二人三脚で

直売所店舗で  
放送を統一

JAとして全国初！

# USENの店内音楽配信

## オリジナルチャンネルを開設

JAわかやまは、直売所店舗統一によるオリジナルチャンネルを開設しました。USENの音楽配信サービスで、出荷者や利用者に対する感謝のメッセージ、JA事業のお得情報などを流すことで、店舗の活性化を期待しています。

県内の直売所では、出荷者や利用者、スタッフら合わせて年間約300万人の出入りがあることから、店内のUSEN放送を効果的に使い、利用者の購買意欲や出荷者の意欲の向上、そして店舗スタッフのモチベーション

向上などにつなげるのが狙いです。

直売所ではこれまで、USENの店内配信サービスは音楽などを流すだけにとどまっていたが、JAわかやまとして一体感をもつため専用チャンネルを設けて内容を統一。JAでは全国初の取り組みで、1月26日から放送を開始しました。

放送内容は、坂東紀好組合長、岩上昌義・芝光洋両副組合長ら役員によるメッセージ、旬の農産物の情報、JA事業のキャンペーンなど。このほか、あらゆる世代に直売所のテーマが浸透するよう職員や職員家族が登場してキャッチコピーの読み上げも行い、合間には音楽などを流しています。

特に役員メッセージは時間帯別に対象者を変えており、開店



機材を操作する菅野店長

前には出荷者、営業時間中は利用者、さらに開店前と閉店後にはスタッフに向けて、それぞれ感謝の思いを伝えていきます。

直販部ファーマーズマーケット課の中元豊課長は「多くの人の耳に残る店内放送で、総合事業の強みを生かしたい。組合長自らメッセージを伝えることが出荷者の皆さまのやりがいにつながったり、直売所で情報を耳にすることが金融・共済等の事業利用のきっかけになれば」と期待しています。

今後は各店舗の店長や出荷者、利用者の声も収録予定。直売所を盛り上げ、各地域における地産地消の拠点としての機能を最大限発揮していきます。

キウイフルーツ協議会

## “オール和歌山”で

### 初の販促活動

大阪で「国産キウイの日」セレモニー

JAわかやまキウイフルーツ協議会は1月19日、大果大阪青果株式会社の子果売り場で開かれた「国産キウイの日」PRセレモニー（日園連市場流通研究会主催）に参加しました。

協議会が発足して初めての販促活動で、集まった市場関係者や仲卸業者に国産キウイの魅力アピールしました。

同協議会は、県内主産地のキウイ生産者で構成する組織。JAわかやまの合併を機に、県産キウイフルーツの品質統一とブランド力強化を目指し、昨年12月に誕生しました。

この日のセレモニーは、国内の主要産地5県が合同で「国産キウイの日」を周知するもので、JAわかやまからは協議会役員や役員ら



キウイの配布を行う協議会役員ら

員、PR大使の「ココわか姫」ら15人が訪問。流通関係者にキウイフルーツを配布し、「オール和歌山」をアピールしました。

JAわかやまの本谷昌平常務は「今回のセレモニーを契機に、国産キウイフルーツの消費拡大に努め、組合員の所得向上に繋がりたい」と話しています。

## 農業振興支援制度について

## JA役職員と意見交換会

JAわかやま青年部（中西康介部長）は12月16日、県JAビルでJA営農部門の役職員と意見交換会を開きました。青年部からは本部役員の4人が出席し、令和7年度から始まった農業振興支援制度の内容について意見を交わしました。

青年部が11月に開いた本部役員会議で、支援制度に関する質問や要望が多かったことから、県内の



青年部と役職員が意見を交換

青年部員にアンケート調査を実施。制度の利用状況や制度に対する意見を取りまとめました。

今回はその取りまとめ結果をもとに本部役員がJA本店の役職員と意見交換を行い、「農作業の省力化につながるスマート農機対象機器を追加してほしい」「後継者世代への支援を拡充してほしい」といった要望を伝えました。

また、制度内容を知らない部員も多くいたことから、今後の周知方法についても話し合いました。「制度利用者の声などを掲載してアピールしてはどうか」という意見があり、広報の方法を工夫することとしました。

営農部は「この支援制度は機器購入の助成ではなく、農業の担い手を増やす」「農業所得の向上を図る」ことが主旨。その点を理解いただき、青年部の皆さんの農業経営の後押しとなるよう、改善すべき点は改善していきたい」と話しています。

役員コラム

# 協同

Cooperation

副組合長  
芝 光洋

## 02 「農家目線」を第一に

**組** 合員ならびに地域の皆さまにおかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

平成23年に旧JA紀州中央の組合長に就任してから、常勤役員として今年で15年目を迎えました。当初から「貫して心に置いてきたのは「農家目線による農協運営」です。

その信念のもと、できる限り生産現場に足を運び、営農販売の課題から生活の悩みまで積極的に組合員農家の声を聴き、課題解決に向けた提案と実行を繰り返して続けていくこと、JAの存在意義はそこにあるものと信じて、これまで取り組んでまいりました。私は秋祭りが大好きなのですが、祭りを続けていくためには地域の活力が欠かせません。そして、活力の根っこにあるのは、地域の産業、とりわけ農

業が元気であることに尽きると思います。そのためには、農業でしっかりと所得が得られ、後継者が育ち、「継いで良かった」と思える環境を整えることが必要で、私たちJAにとって最も重要な任務であると考えます。

また、地域への貢献意識も大事です。振り返ると、組合長に就任したばかりの平成23年9月、管内で大雨による大規模な土砂災害が発生したのですが、その際、地域住民の皆さまに避難していただくため、川辺の選果場を開放し感謝された記憶が今でも残っています。この時は、非常時に地域を守るために動くこともJAの大切な役割であると実感しましたし、「いざという時に頼りになるJA」であり続けたいと思ったものです。

近年では、地球温暖化の影響による自然災害が頻発化し、農家にとっても大きな悩みとなつていますが、農業の安定経営には、国会議員や行政に対する支援要請など制度面での後押しも欠かせません。昨年発生した雹被害の際には、生産現場に必要な支援が届くよう強く働きかけを行いました。こうした対応は、特に役員重要な務めとして意識を高くしています。

新生「JAわかやま」の誕生から1年が経とうとしています。規模が大きくなると現場との距離が離れるとよく言われますが、これまで同様、「農家目線」を軸に農業所得の向上と地域の活性化に真正面から取り組んでまいりますので、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# JA女性の集い・家の光大会開く

記事活用報告や物価高対策の講演会など

JAわかやま女性会（上岡万起子会長）は1月9日、県JAビルで合併後初となる「JAわかやま女性の集い・家の光大会」を開きました。各地域本部の役員らが参加し、家の光記事活用報告や物価上昇に関する講演会で研鑽を図りました。

大会は、女性の役割発揮や教育文化活動・協同活動の強化を通じ、安心して暮らせる豊かな地域づくりを進めるのが目的。合併前からの継続開催で、県内の女性会会員やJA役員ら86人が参加しました。



会員やJA役職員が参加した大会

開会にあたり、上岡会長は「JAわかやまが発足以来、新しい取り組みを取り入れながら魅力のある女性会を目指して活動してきました。今後も、活動を通して仲間の輪をさらに広げていきますましよう」と呼びかけました。家の光体験発表の「記事

活用報告」では、紀州地域本部の小林孝子さんが「地域とともに歩んだ40年―女性会活動と私」と題して活動を発表。2月に福岡県で開かれる、全国家の光大会「記事活用」に和歌山県代表として出場します（大会の様子は次号で紹介）。

また、女性会会員による寸劇「物価上昇と私たちの暮らし」が披露され、日常生活の身近なテーマをユーモアも交えて発表。大きな笑いが起こる場面もありました。

その後の講演会では、株式会社UFPFの西原憲一代表取締役が「物価上昇との付き合い方」をテーマに講演。資産を増やす方法として、NISAやiDeCoなどを紹介しました。



物価上昇を乗り切る術を語る西原氏

## 日本農業新聞 和歌山県大会

# 広報の重要性や 新聞の役割を再確認

普及運動の報告や優秀通信員表彰も

JAわかやまは1月30日、令和7年度日本農業新聞和歌山県大会を本店JAビルで開きました。役員、各地域本部の広報担当者など約80人が出席し、普及運動の中間報告や優績通信員の表彰などを行うとともに、農業新聞の役割や広報活動の重要性を確認しました。

開会にあたり、JAわかやま代表理事組合長の坂東紀好氏が「農業の発展のため、広報の重要性や農業新聞の果たす役割を認識してほしい」とあいさつ。来賓として日本農業新聞常務取締役の山西直規氏が出席し、全国の農業情勢について報告しました。令和6年度の日本農業新聞通信員



役員や地域の広報担当者ら80人が参加した大会

活動優績表彰では、わかやま地域本部の宮本貴夫さん（優秀賞）、紀南地域本部の宮本輝華さん（奨励賞）、紀の里地域本部の宮本恵子さん（特別賞）が受賞しました。

また、都道府県中央会・JAの編集担当者の中から全国で2人に贈られる「令和7年度優績デスク」に、経営戦略室広報地域対策課の中村美月さんが選ばれ、山西常務から表彰されました。



表彰された皆さん。④から中村美月さん、宮本貴夫さん、宮本輝華さん、宮本恵子さん



# 総代懇談会



J Aわかやまでは昨年12月から1月にかけて、8つの地域本部で下半期の総代懇談会を開きました。いただいた主なご意見を整理し、Q & Aでお答えします。



**Q** トップセールスの記事が新聞等によく掲載されている。今後も積極的に取り組んでほしい。

**A** 今後もスケールメリットを活かし、トップセールスを含め販売価格の向上に取り組めます。特に市場では、品質と量がものをいうため、更なる品質向上と生産拡大への取り組みをお願いします。

**Q** 農業振興支援制度では、申込多数の場合、助成額が減額になるそうだが関係なく助成してほしい。

**A** 本制度は毎年度5億円を上限として、より多くの方に助成を受けていただき、少しでも担い手の確保や生産拡大につながるよう助成するものであり、超過する場合は調整することをご理解ください。

**Q** クビアカツヤカミキリムシ問題について、J A全体で共有し、その対策に強力に取り組んでほしい。

**A** 同問題についてはJ A内で共有するとともに、行政とも連携し、その対策に取り組んでいますが、引き続き力を入れて取り組んでいきます。

**Q** 県農包括承継後、販売手数料はどのように整理されたのか。

**A** 県農包括承継後も、県農職員並びに県外事務所の運営、販売債権の管理など県農業務全般をJ Aが引き継いでおり、その運営を賄うには一定の収益が必要で、手数料を0.1%引き下げた上で、「共通管理負担金」としてご負担いただいています。ご理解下さ。

**Q** 県1 J A合併したことの恩恵を感じる事が少ない。具体的なメリットを明確に示してほしい。

**A** 販売面では、スケールメリットを発揮しつつあると実感しています。また、生産資材、特に肥料・農薬については、合併時に価格を統一するとともに、全体で概ね3億円程度の価格対策を実施しています。また、農業振興支援制度を創設し、毎年度5億円を上限に担い手の確保や生産拡大等への取り組みに助成することとしており、今年度、多くの組合員の皆様にお申込みいただいています。今後もメリットの発揮に向けてさらに取り組みを進めます。

**Q** 出資配当率は各地域で一律なのか。もう少し分配してほしい。

**A** 配当率は一律です。J Aが今後も経営を継続し、施設更新等にも備えるためには一定の内部留保確保が必要で、収支や財務状況を総合的に勘案し総代会でご判断を仰ぐこととなります。

**Q** 合併時の説明では、概ね5年程度は地域本部ごとに収支管理を行うと言っていたが、地域ごとの剰余金についてはどのように扱うのか。

**A** 合併後、地域本部ごとに収支計算を行い、その剰余については地域へ還元する措置をとることをしました。具体的な還元の方法等については、今後、地域本部とも相談しながら検討を進めます。

**Q** 人口減少によりAコープ等の事業はもとより農村

地域の衰退が懸念されるが、どう乗り越えていくつもりなのか。乗り越えるためにも人材育成を強化すべきである。

**A** 県内人口の減少、生産年齢人口の減少への対応はJ Aにとっても重要な対処すべき課題です。次年度以降、次世代を担う職員も参加のもと、将来を見据えたビジョンと戦略を打ち立て、皆様にお示しできるよう取り組んでいきます。



紀北地域で開かれた総代懇談会

# 紀のWalker

キノウォーカー

わかやま  
地域編

【ナビゲーター】④東部営農センター／山崎さん ⑥かわなべ支店／中彌さん

## ダイコン

和歌山市紀三井寺近辺で育つ「わかやま布引だいこん」は、農産物として県内初の農林水産省「地理的表示（GI）保護制度」に登録されたトップブランドです。



みずみずしく色艶の良いダイコンは炊いてもサラダでもおいしいです!

南ブロック大根生産販売協議会  
会長 吉田 謙二さん

## 新ショウガ

和歌山市沿岸部に広がる砂地地帯で育つ「新しょうが」は、白い根茎とピンク色の茎のコントラストが美しく、爽やかな辛みで食感が良い特産品。甘酢漬け、天ぷら、炊き込みご飯などおいしくいただけます。旬は初夏の5月～10月まで。

様々なレシピを考案し消費拡大に取り組んでいます!

生姜生産販売連絡協議会  
会長 山本 修也さん

これから春キャベツのおいしい時期です。ぜひご賞味ください。

## キャベツ・白菜・ブロッコリー

紀の川流域の和歌山平野で水稲後作として栽培されています。品種リレーによる長期出荷で新鮮な野菜をお届けしています。

キャベツ・白菜（軟弱）連絡協議会  
会長 秋月 宏文さん



地域本部長 半田 悦雄

県庁所在地の和歌山市に位置するわかやま地域は、和歌山平野や海岸沿いの砂地地帯、中山間地域など、農業に恵まれた環境が広がっています。水稲、キャベツ、ハクサイ、ブロッコリーをはじめ多彩な農産物があり、中でも、「新しょうが」は全国有数の生産量、「わかやま布引だいこん」は農水省の「地理的表示（GI）保護制度」に登録されています。景観にも優れ、歴史を綴る和歌山城、イタリアのアマルフィを彷彿させる雑賀崎など。農産物だけでなく海の幸も盛りだくさん。見て、食べて、「おいしい旅」が詰まっています。ぜひ、お越しください。

- ⑥紀伊支店 TEL073-461-0458  
和歌山市弘西98-1
- ⑦かわなべ支店 TEL073-461-2131  
和歌山市里84-6
- ⑧四ヶ郷中之島支店 TEL073-471-2719  
和歌山市有本19-1
- ⑨ひがし支店 TEL073-471-0848  
和歌山市栗橋660-1
- ⑩高積支店 TEL073-477-0003  
和歌山市和佐開戸54-1
- ⑪JAビル支店 TEL073-426-0006  
和歌山市美園町五丁目1番地の1

- ⑫和田川支店 TEL073-471-1385  
和歌山市田尻476-1
- ⑬名草支店 TEL073-444-1105  
和歌山市布引520-1
- ⑭宮前支店 TEL073-476-5511  
和歌山市中島547-12
- ⑮雑賀支店 TEL073-444-0377  
和歌山市西浜2-1-30
- ⑯東部支店 TEL073-471-1331  
和歌山市森小手穂130-1

- ⑰西部営農センター TEL073-480-3450  
和歌山市狐島303-1
- ⑱北部営農センター TEL073-464-4560  
和歌山市弘西96-3
- ⑲中央営農センター TEL073-471-0102  
和歌山市栗橋660-1
- ⑳南部営農センター TEL073-444-0390  
和歌山市布引520-1
- ㉑東部営農センター TEL073-488-3190  
和歌山市森小手穂130-1



### わかやまジンジャーエール

新ショウガを丸しぼり! 梅、桃、じゃばらとの出会いでおいしさアップ。



### JA わかやま こだわりごはん

栽培にこだわりぬいた和歌山市産「にこまる」を100%使用。



一口  
食べると  
ご飯が止まり  
ません!

### ごはんのおとぎでショウガ

ピリリと辛みのあるショウガのうま味とカツオ節風味が絶妙なバランスでマッチ。



新鮮農産物が  
いっぱい!



### 愛菜てまりっこ かせい店

和歌山市榎原223-26  
TEL.073-452-3883  
[9:00~17:00]

新鮮な農家直送農産物(野菜・果物・花)が店頭に並びとともに、地場産農産物を使用した豊富な加工品等を取り揃えています。

<b>いさお店</b> 和歌山市園部1449 TEL.073-462-4841	<b>しかごなかのしま店</b> 和歌山市有本18-1 TEL.073-471-5211	<b>さいか店</b> 和歌山市西浜1-1-1 TEL.073-444-1444	<b>おかざき店</b> 和歌山市寺内575-1 TEL.073-476-4001
---	--	--	---

定休日(全店):日曜日、年末年始

## 育苗施設

「第1グリーンステーション」  
「第2グリーンステーション」

水稻・野菜・花き苗を通年栽培し、組合員の皆さまの労力軽減を支援しています。県1JA合併を機に、支援を広げていきます。



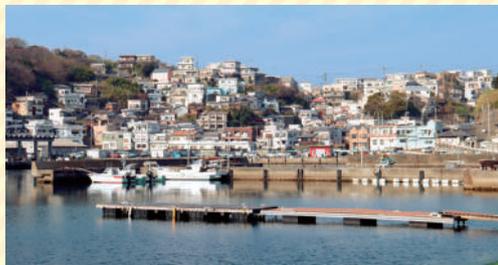
組合員の  
皆様から注文を受け、  
苗を作っています

営農部  
川井 貴央



県内  
最大級の  
育苗施設  
です!

▼ 第1グリーンステーション ↑ 第2グリーンステーション



### 雑賀崎

和歌山市雑賀崎

雑賀崎は「日本のアマルフィ」とも称され、斜面に家が立ち並び景観が特徴です。また、雑賀崎灯台(雑賀崎809-2)は市内でも有数の夕日展望の名所として知られています。



### 和歌山城

和歌山市一番丁3

和歌山城は和歌山市中心部にある名城で、8代将軍吉宗、14代将軍家茂を輩出した紀州藩紀州徳川家の居城。天守閣からの見晴らしがよく、市街や紀伊水道を一望できます。



無料の  
動物園も  
あります!

オススメ観光スポット!!



- ★わかやま地域本部 TEL.073-471-3731  
和歌山市栗橋642
- ①加太支店 TEL.073-459-1111  
和歌山市加太1040-1
- ②かせい支店 TEL.073-455-0044  
和歌山市榎原223-26
- ③かほく支店 TEL.073-455-3222  
和歌山市狐島302-1
- ④きのかわ支店 TEL.073-455-3221  
和歌山市平井108-1
- ⑤六十谷支店 TEL.073-461-0011  
和歌山市六十谷21-7



わかやま  
地域

さらなる高品質安定生産に向け  
令和8年産水稲・果樹栽培集落別説明会



わかやま地域は令和8年産水稲・果樹栽培に向け、集落別説明会を開きました。営農センター職員が昨年産の作況報告と本年産栽培指針に基づき、重点対策などを説明。管内5ブロックの集落別に昼の部42回、夜の部35回の計77回開き、組合員約1100人が参加しました。

近年、進行する気温高の対策は、課題となっています。同地域の育苗施設では組合員の要望に応え、早生品種「にじのきらめき」の育苗が今年から始まります。説明会ではジャンボタニシ対策や土づくりの重要性を説明し、耐暑性と収量に期待が持てる同品種を紹介。情報を共有しました。

ながみね  
地域

「蔵出ししもつまかん」スタート！  
キャンペーン隊が全国各地でPR

ながみね地域特産の「蔵出ししもつまかん」をPRするため、JAや行政、生産者らでつくる「蔵出しもかんキャンペーン隊」は1月15日、大阪中央卸売市場本場で「蔵出ししもつまかん」のトップセールスを行いました。セリ場で販売せしモニールを行い、市場では生産者やJA役職員によるミカンの配布や、競り台でのPRを実施しました。

キャンペーン隊は2月28日までの期間、京阪神・首都圏・新潟・仙台・北海道などの主要な出荷先へ出向き、市場への表敬訪問を行います。また、量販店での販売促進活動や幼稚園・小学校での食育活動、福祉施設などへミカンを寄贈します。



紀の里  
地域

「めっけもん広場」の初売り  
福袋と七草粥が大好評！



ファーマーズマーケット「めっけもん広場」は1月7日、2026年の初売りを行いました。売場では、野菜やイチゴ、ミカンなど旬の農産物を買求める来店者が賑わいました。

人気を集めたのは、店内で販売している加工品の詰め合わせとジューズ1箱をセットにした福袋で、開店直後に即完売しました。また、この日は新年の伝統的な行事でもある「七草の日」で、200食の七草粥を振舞いました。

吉川店長は「今年も多くの来店者に喜んでもらえる店作りを目指し、頑張っていきたい」と話しました。

北  
紀  
地域

甘熟富有柿「夢」<sup>のぞみ</sup>「希」出荷  
糖度18度以上の厳選された最高級ブランド

国内有数の富有柿の産地として知られる九度山町で、甘熟富有柿「夢」を12月中旬に出荷しました。

甘熟富有柿は果実に袋を掛けて収穫時期を遅らせ、樹上完熟させたもので、甘熟富有柿部会の約25戸が生産。形状・色付きが良く、糖度18度以上の厳選されたものを「夢」、それに続くものを「希」と名付けて出荷しています。

マルい選果場で集荷した1万5000個のうち、約2000個が「夢」希となりました。大阪市中央卸売市場本場や名古屋方面の市場へ出荷し、百貨店などで販売されました。



牡羊座  
3/21~4/19

全体運 運勢は次第に上昇。ちょっとした気遣いが相手の心に響きます。1人で動くよりも協力者を募りましょう  
健康運 冷え、むくみ対策を。足のストレッチがお勧め  
幸運の食べ物 キュウリ

ありだ  
地域

女性会役員と地域本部が対話集会  
女性目線で思い伝える



ありだ地域本部は1月23日、女性会役員とJA役職員との対話集会を開きました。相互理解を深め、女性の意見をJA運営に反映することが目的。女性会からは田中清美会長をはじめ6人の役員と、JAから小原健二本部長はじめ副本部長3人が出席しました。

和やかな雰囲気の中、ATMの設置や施設設備に対する要望や、JA事業への関わり方について意見交換を行いました。田中会長は「直接対話することで理解が深まり、これからも女性の視点を生かして地域に貢献していきたい」と話しました。

紀州  
地域

「にっぽん丸」が日高港へ  
特産のミニトマトや梅干しなどPR



紀州地域本部は1月7・8の両日、横浜港発の大型クルーズ客船「にっぽん丸」が御坊市の日高港へ寄港したのに合わせて、高糖度ミニトマト「優糖星」、早生ミカン、梅干し「とまと梅」、とまと梅味ポテトスティックなど特産品の試食販売を実施しました。

クルーズ船から降りてきた多くの乗客らは興味深そうにブースに集まり、会場は大盛況。試食した乗客からは「美味しい!」との声が上がっていました。商品の購入者や直売所のインスタグラムをフォローした方を対象に、特産品が当たる抽選も企画するなど、産地のPRに努めました。



紀南  
地域

ミカン狩りツアー受け入れ  
8日間で延べ400人が来園



紀南地域では12月中下旬の8日間、関西の旅行会社とタイアップした紀南観光ツアーを受け入れ、田辺市内の生産者の農園で延べ400人がミカン狩りを体験しました。

同ツアーは毎年紀南地方の観光行程にミカン狩り体験が盛り込まれているもので、「本場で新鮮なミカンを食べられる」と参加者から好評です。今回は田辺市芳養町の宮崎元樹さんと坂本真一さんの園地で1人当たり約1〜2キの木熟ミカンを収穫。参加者らは「どれもおいしいかな」と互いに相談したり、生産者から選び方を教わったりしながら、採れたてのミカンを頬張っていました。

みくまの  
地域

農業体験塾で「漬物作り」  
女性会の会員が講師を務める



みくまの宮農経済センターは12月中旬、農業体験塾第6回講座(全11回)「地元野菜を使った漬物づくり実習」を那智勝浦町の高津気会館で実施しました。講師は女性会会員8人が務め、受講生10人が参加しました。受講生のほとんどが初めての体験で、講師が育てた高菜を使用して塩水を作り一枚一枚丁寧に樽に漬けていきました。熱心にメモや動画を撮る姿も見られました。

講師の瀧本秀子さんは「自分で漬けた漬物は一段とおいしいですよ」と話し、実習後は会員が漬けた「たかな漬け」を使った「めはり寿司」を試食し、受講生と女性会会員の交流も深まりました。





熱心に聴く受講生

わかやま地域が和歌山大学で実施している令和7年度JAわかやま寄付講義「食と農のこれからを考える(全15回)」が1月27日に最終回を迎え、坂東紀好組合長が講師として登壇しました。JAの組織概要や農業の現状・課題について解説し、学生らの理解を深めました。

寄付講義は、消費者への食と農の理解醸成とリカレント教育によるJA職員の育成を目的に、旧JAわかやまが平成30年度から始めました。合併後もわかやま地域が引き続き行い、これまで、学生、JA職員、行政関係者など約2500人が受講。

幅広い知識や現場の課題について学んできました。

講義では坂東組合長が、JAグループ和歌山が10年以上の協議を重ね、今年度、県1JA合併が実現するまでの経緯を紹介。「JAを取り巻く環境の変化に対応しながら、より強固な組織づくりや農業と地域農業の発展を目指している」と力を込めました。

日本の食料自給率が低下し、海外への依存度が高まっている現状にも触れ、「今後の食と農を考えるうえで、長期的な視点が必要である」と強調。「農業は命の原点。まずは、国産の農産物を買うことが農業を応援することにつながる。受講生の皆さんには、この講義が農業を見つめ直すきっかけになることを期待したい」と呼びかけました。

JAわかやまでは、令和8年度もこの寄付講義を実施する予定で、「地域と農業を支える協同組合」をテーマに、わかやま地域のほか各地域の職員や生産者が登壇する予定です。



講義をする坂東組合長

## 農業者年金で 安心・豊かな老後を



- 農業に従事する方の老後の安心に役立ちます。国民年金+農業者年金
- 終身年金で80歳までの保証付きです。
- 支払った保険料は全額社会保険料控除となり、**節税**になります。

### 農業者年金へは

- ▶ 国民年金第1号被保険者  
※国民年金保険料納付免除者を除く。
  - ▶ 年間60日以上農業に従事
  - ▶ 60歳未満
- の方ならどなたでも加入できます。

※加入の際には国民年金の付加年金(月額400円)への加入が必要です。



### 月々の保険料を大きくすることで将来の支給額を増やせます

農業者年金の保険料は2万円から6万7千円まで(千円単位で)加入者が自由に選択できます。

また、保険料の額はいつでも見直すことができます。

加入期間が短くても、保険料を増やすことで豊かな老後に備えることができます。

※途中脱退された場合でも、それまでに積み立てた保険料は将来、年金として支払われます(脱退一時金はありません)。

### ◆ 農業者年金に加入すれば～農業者年金の受給額(年額)の試算～

加入年齢	納付期間	保険料額	年金額(年額)		想定される受給総額	
			男性	女性	男性	女性
30歳	30年	2万円	55万円	48万円	1,189万円	1,301万円
40歳	20年	2万円	33万円	29万円	704万円	771万円
50歳	10年	2万円	15万円	13万円	314万円	343万円

※左のケースは、65歳までの運用利回りが2.5%、65歳以降の予定利率が1.35%となった場合の試算です。制度発足以降22年間(令和5年度まで)の運用利回りの平均は、年率3.05%です。

※受給総額は65歳での農業者年金加入者について想定している平均余命を考慮し、男性86.5歳 女性92歳まで生存した場合の金額です。

※各金額は単位未満を四捨五入により表示しています。

詳しくは **農業者年金基金**  <https://www.nounen.go.jp> 内容やご相談については、最寄りの農業委員会がJA支店、または農業者年金基金にお問い合わせください。  
**独立行政法人農業者年金基金** TEL : 03-5919-0371 E-mail : info@nounen.go.jp



## 第11回 和歌山県農業協同組合理事会

### ●開催日

令和8年1月30日(金)

### ●報告事項

- (1)理事委員会報告
- (2)各事業実績報告
- (3)総代懇談会意見等について
- (4)コンプライアンス委員会報告
- (5)ALM委員会報告
- (6)個人情報漏えいの行政庁報告について
- (7)令和8年度農業振興支援制度の主な見直し事項について

### ●協議事項

- (1)固定資産投資の考え方について
- (2)固定資産の取得について
- (3)北海道内における県産青果物の販売対応について
- (4)令和7年度上半期 監事監査指摘に対する回答について
- (5)所在不明組合員の資格喪失について
- (6)組合員の出資口数の減少について

### ●その他



## 「紀の恵み」Wチャンス賞の抽選を実施!

キャンペーン定期貯金「紀の恵み」は、定期貯金の特別金利に加え、ダブルチャンス賞として県内産の賞品をお届けする企画を展開しており、このたび1月5日(月)に当選者の抽選を実施いたしました。

岩上昌義副組合長がデジタル抽選システムを使用し、厳選なる抽選をした結果、1800名の皆様に和歌山県産のみかんやお米、熟選工房(みかんジューズ)をお届けすることになりました。(※当選発表につきましては商品の発送をもってかえさせていただきます)



抽選を行う岩上副組合長

多くの皆様に「紀の恵み」をご利用いただき、厚く御礼申し上げます。今後も皆様に一層楽しんでいただけるキャンペーンをお届けしてまいります。

## 大きくてもスツと抜ける! わかやま地域特産のダイコン収穫

JAWAわかやまは1月10日、「ココワカ。ファミリー」の第3回講座を和歌山市で開き、参加者39人は、わかやま地域特産のダイコンの収穫体験を楽しみました。

海岸沿いに広がる砂壤土と豊富な地下水で育てられ、ストレスなく真っすぐに生育するため、みずみずしく美しい白肌に仕上がるのが特長の青首ダイコン。収穫体験は、同市のダイコン生産者である芝正義さんの協力のもとで実施しました。

参加者らは大きく育ったダイコン400本の収穫に挑戦。砂地のため「スツと抜ける」と次々と抜いて、トラックへ積み込みました。

収穫後は、JAWA職員手作りのダイコン入り味噌汁が振る舞われ、参加者たちは「おいしい」「あつたまる」と舌鼓。一人当たりダイコン5本程



大きなダイコンを収穫する参加者

度を持ち帰り、満足した様子でした。

参加者の花光公映さんは、「砂地で育っていることもあり、簡単に抜くことができ驚いた。煮物や漬物など、さまざまな料理で旬の味を楽しみたい」と話しました。



全員で協力し400本収穫完了!

JAタウン「ココ・カラ。和歌山マルシェ」大決算セール  
 20%OFFクーポンでお得にお買い物♪

実施期間

令和8年2月13日～3月13日

「ココ・カラ。和歌山マルシェ」が対象とする商品に使用できる**20% OFFクーポンを配布!**この機会をお見逃しなく!!  
 ※クーポン数には限りがあります。  
 ※キャンペーンの終了日は早まる可能性があります。

せとか 約4kg (18〜28玉入り)  
 3月中旬より順次発送



果肉は濃厚でジューシー! 柑橘の大トロとも呼ばれる、とろけるような食感をお楽しみください。



木熟301デコボン 約3kg (12〜15玉入り)  
 3月中旬より順次発送  
 不知火を通常より2ヶ月以上長く木で熟して糖度を高めた特別なデコボン。



熟姫キウイフルーツ 約3.6kg (20玉入り)

収穫時に糖度が13・5度以上に達するとされる園地の果実を熟姫として販売しています。

紀州みなべの南高梅 **tomatoume**  
 (200g×2個入り「化粧箱」、塩分…約8%)



紀州みなべの南高梅を、高糖度ミニトマト優糖星(糖度8度以上)の果汁で漬け込み、まろやかなトマト味に仕上げた、新感覚のデザート梅干しです。

ほかにもたくさんさんの農産物や加工品を取り揃えております。詳しくは、ホームページをご覧ください。

JAタウン「ココ・カラ。和歌山マルシェ」



蛍光灯の製造・輸出入が終了する前に

# LED

照明器具へ  
 早めの交換を  
 ご検討ください!!

一般照明用の蛍光灯の製造・輸出入は、  
**2027年**までに終了します。

種類	直管蛍光灯	環形蛍光灯	コンパクト形蛍光灯
廃止年月日	2027年12月31日	2027年12月31日	2026年12月31日
写真(例)			

既に使用している製品の継続使用、廃止日までに製造された製品(在庫)の使用が禁止されるものではありません。  
 しかし、2027年以降の蛍光灯製造の終了により、既存の蛍光灯器具に合う交換用ランプの入手が困難になり、いまご使用の照明器具が使用できなくなる可能性があります。また、終了が近づくと注文が集中し、交換に時間を要する場合があります。

今のうちに計画的なLED化を!!

県内のAコープ・ファーマーズマーケットで

## レインボー商品券

がご利用いただけます!

● レインボー商品券とは? ●

JA全農が発行する、正式名称農協全国商品券。Aコープや、JAわかやまのファーマーズマーケットでご利用いただけます。500円分、1000円分の2種類を展開しています。



【ファーマーズマーケット】  
 愛菜てまりっこ/とれたて広場/めっけもん広場/根来さくらの里/やっちゃん広場/ありだっこ/ほんまもんふるさと産地直売所/フレッシュマート特産品直売所/紀菜柑

【Aコープ】  
 かなや/かわべ/ひだか/さわやか日高/ゆら/いなみ/みなべ/デリシスイなり/クックガーデン/アピア/あぜみち/あゆかわ/熊野古道なかへち/熊野古道ちかつゆ/ヴァセオ/なち/ランティス/みさと(道の駅奥熊野古道ほんぐう)

※赤字の店舗ではレインボー商品券の販売も行っていません。

ご利用可能店舗

税務署から確定申告のお知らせ

■ 所得税及び復興特別所得税・贈与税の申告・納期限  
令和8年3月16日(月)

■ 個人事業者の方の消費税及び地方消費税の申告・納期限  
令和8年3月31日(火)

■ 納税はキャッシュレスで！

・ 振替納税

・ 預貯金口座からの口座引落により納付する方法

・ ダイレクト納付

・ ダイレクト納付の申込をし、e-Taxから口座引落により納付する方法

・ 電子納税

・ インターネットバンキングやATM(ページー)を利用して納付する方法

・ クレジットカード納付

・ 専用サイトからクレジットカードで納付する方法(手数料がかかります)

・ スマホアプリ納付

・ スマホ決済アプリ(Pay払い)を利用して納付する方法

■ マイナンバーカードとe-Taxでさらに便利！

・ 確定申告書は、国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」からマイナンバーカードを使用し、そのままe-Taxで送信できます。

きます。

・ マイナポータル連携を利用すると、医療費、ふるさと納税等の控除に関する情報を一括取得し、自動入力することができます。

※マイナンバーカード及び電子証明書の有効期限にご注意ください。  
確定申告書作成コーナー

確定申告書作成コーナー



■ 不明な点は国税庁ホームページ、チャットボット、電話相談センターで！

・ チャットボットでの相談

・ 「申告が必要な場合ってどんなとき?」「医療費控除の対象になるものってどんなもの?」。質問したいことをメニューから選択するか、入力いただくと、AI税務職員「ふたば」がお答えします。

税務職員ふたばにはこちらから



・ 電話での一般的なご相談は「電話相談センター」へ

・ 国税相談専用ダイヤル(0570・00・5901)に電話をかけ、音声案内に従い、相談内容に該当する番号を選択してください。国税局の職員等がお受けします。

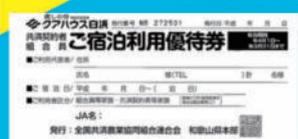
クアハウス白浜からの Information

JA組合員及びJA共済契約者様へ

とってもお得な 2大特典

※JA組合員及びJA共済契約者様のみの対象です。

特典① ご宿泊利用優待券



優待券はJAの組合員・共済契約者とそのご家族のみがご利用できます。優待券ご利用の方は最寄りのJA窓口にお申込ください。

特典② 送迎バス無料

日帰り	大人15名様以上
ご宿泊	大人10名様以上

バス最大28名様まで 詳細はお問合せください



新春の味覚



ご予約についてのお申込みやご不明な点がございましたら、クアハウス白浜までお問合せください。

当ホテルは  
JAグループの施設です



〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町3102  
☎0120-26-8167  
TEL.0739-42-4175

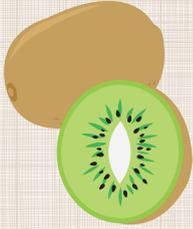


これ知ってる?

# 食農クイズ



?



- ③ 約70 mg
- ② 約30 mg
- ① 約10 mg

### Q3

キウイフルーツ(緑色の可食部100gあたりに含まれるビタミンCの量は?)



- ① 香りが強い花
- ② 水に弱く、切り花に向かない
- ③ 乾燥しても色があせにくい

### Q2

スターチスの特徴として正しいものは?



- ① 胃の粘膜を保護する
- ② 骨を強くする
- ③ 血液をサラサラにする

### Q1

キャベツに含まれるビタミンU(キャベジン)には、主にどのような働きがある?



ができます。

③ キウイフルーツはビタミンCがとても豊富な果物です。レモンよりも多い場合があり、成人が1日に必要とするビタミンCの推奨量(約100mg)のおよそ7割を、キウイ1個で摂ることができます。

③ スターチスは花びらがしっかりとしているため、乾燥させても花の色があせにくく、鮮やかさが長く保たれます。そのため、ドライフラワーとしても人気です。

① ビタミンUは、キャベツから発見されたビタミン様物質です。胃潰瘍や十二指腸潰瘍などの胃腸障害を予防・改善する働きがあります。

## 解答

A1 ①

A2 ③

A3 ③

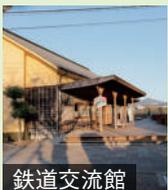
## こんなところ ありますスポット



有田川町鉄道公園 [発信元:ありだ地域]



蒸気機関車D51



鉄道交流館



芝生広場

「有田川町鉄道公園」は、かつて地域の足として活躍した旧有田鉄道の魅力を今に伝える町の人気スポットです。

旧鉄道敷地を活用して整備されたこの公園は、鉄道文化と自然が調和する憩いの場として、家族連れや鉄道ファンをはじめ幅広い世代に楽しまれています。

公園の象徴ともいえる入口の蒸気機関車「D51 1085」は力強い姿で訪れる人々を迎え、往年の鉄道のロマンを感じさせます。また、園内には約400メートルの線路が敷かれ、「キハ

58003」や「ハイモ180-101」などの往年の車両が土・日・祝日に乗車体験として運行されるほか、鉄道交流館では有田川町の景色を再現した精巧な鉄道ジオラマ展示も楽しめます。

**所在地** 有田川町徳田124-1 **駐車場** 駐車場あり

**【鉄道交流館】** 定休日:毎週水曜日・木曜日(ただし、祝日の場合は営業)  
営業時間:午前10時~午後5時

**アクセス** ①阪和自動車道有田ICを金屋・清水方面へ下車し、  
県道22号線を東へ(所要時間約10分)

②JR藤並駅から、路線バス「有田鉄道(金屋口・清水・花園方面)」に  
乗車、「こころの医療センター前」のバス停で下車(所要時間約12分)



天秤座  
9/23~10/23

全体運

健康運

小さなことが気になって大局を見失いがち。ゆっくり深呼吸を。いつものバランス感覚を取り戻せば快方へ

発酵食品やたっぷりの野菜が健康の味方

幸運の食べ物 タマネギ

# 家庭de菜園

## シロウリ — 適切な整枝で着果を増やす —

図1 畑の準備

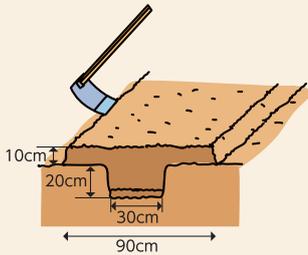


図2 整枝1

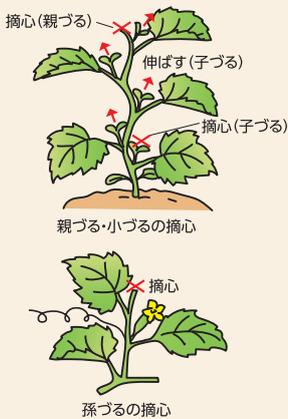


図3 整枝2(4本整枝)

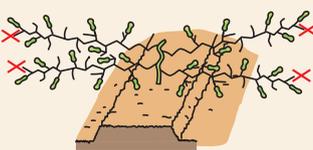
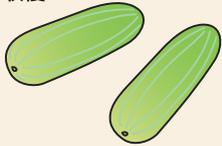


図4 収穫



栽培カレンダー(シロウリ)

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
冷涼地	トンネル		●	▲	○	■	
	キャップ		●	▲	○	■	
	じかまき		●	▲	○	■	
中間地	トンネル		●	▲	○	■	
	キャップ		●	▲	○	■	
	じかまき		●	▲	○	■	
暖地	トンネル		●	▲	○	■	
	キャップ		●	▲	○	■	
	じかまき		●	▲	○	■	

● 種まき    ●● 苗作り    ▲ 植え付け    ○ トンネル  
— 生育    ▲ キャップ    ■ 収穫

地方品種として各地で固有の品種があります。いずれの品種も200〜300gほどで若取りすれば浅漬け用、1kg程度に大きくすればかす漬け用になります。家庭菜園では比較的入手しやすい「沼目白瓜」(タキイ種苗など)、「白はぐらうり」(サカタのタネなど)、「青はぐら」(トキタ種苗など)などがお勧めです。その他、東京の「東京早生

### 品種

発芽適温は28〜30度、生育適温25〜30度と高温が適するため、主に初夏に種をまき、夏に収穫します。

### 栽培時期

シロウリ(白瓜)は「越瓜」とも呼ばれ、インドから東南アジアにかけてが原産で、暑さに耐え強光を好みます。カリウムが比較的多く含まれ、余分なナトリウムを体外に排出する作用があり、高血圧の予防に有効です。

植え付け2週間前までに1平方m当たり100g程度の苦土石灰を散布し、土とよく混ぜておきます。1週間前に幅30cm、深さ20cm程度の溝を掘り、溝1m当たり化成肥料(NPK各成分10%)100gと堆肥2kgを施し、土を戻してこの溝を中心に幅90cm、高さ10cm程度の栽培床を作ります(図1)。

### 畑の準備

苗作りをする場合は、培養土を詰めた9cmポリポットに3粒ずつ種をまきます。本葉が出始めた頃に生育が良いものを残して間引いて1本にし、本葉5、6枚まで育てます。なお、遅霜の心配のない時期には、じかまきをすることができます。

### 苗作り

白瓜、京都の「桂白瓜」、香川の「讃岐白瓜」などが伝統野菜として受け継がれています。

### 整枝

シロウリは孫づるに着果する性質があるため、摘心して孫づるを多く出させます。まず、親づるは本葉5、6枚でつる先を摘み、上の節から出る子づるを4本伸ばし

### 収穫

若取りは200〜300g(開花後20〜25日)で収穫します。かす漬けなどの加工用は1kg程度(開花後40日程度)で収穫します(図4)。

### 追肥

子づるが盛んに伸びだしてくる頃、1株当たり化成肥料50g程度を畝の両側に散布して土寄せします。さらに、孫づるが伸びだす頃に、同様に追肥・土寄せをします。

### 植え付け

風のない暖かい日に、深植えにならないよう、株間を約1mにして植え付けます。

### 保温

低温に弱いので、トンネル栽培やキャップ栽培を行います。トンネルは夜間の保温と日中の換気のため裾の開閉で温度調節を行います。キャップ栽培は、ビニールで約30cm角のあんどんやドーム状のキャップをかぶせます。トンネルやキャップの中が茎葉でいっぱいになるくらいまで育ったら取り外します。

# 俳句・川柳・短歌

## 俳句

桑島啓司選

味噌汁の香りに目覚め冬の朝  
清原 一雄(紀の川市)

【評】朝目覚めると朝食の準備をしてくれていて、味噌汁の香りが漂ってきた。冬の朝はもう少し寝ていたいそんな訳にはゆかない。

教室が大騒ぎなり赤どんぼ

木村 安男(和歌山市)

寒月を仰ぐ故郷の無人駅

小田 慶喜(兵庫県)

鯛焼を買って帰るも妻は留守

大谷 信光(和歌山市)

園児来て鎮守賑はふ小春かな

米澤 百(田辺市)

あかぎれの我が手みつめて母想ふ

竹内久美子(田辺市)

葛もみぢ庄屋の蔵を鮮やかに

中本八千子(白浜町)

引越しの荷をトラックに年の暮

丸毛 光明(和歌山市)

着ぶくれの友が笑顔で訪ね来し

森 繁子(和歌山市)

あたたかき心を持ちて梅見かな

梶本 祥子(和歌山市)

水溜り枯葉の小舟二つ三つ

南出喜久子(和歌山市)

火の神を祀る竈に春日差す

阪口 幸子(和歌山市)

水仙や香り力にすくと立ち

上野 敦子(橋本市)

和歌好きの祖母の遺影や年の暮

三ツ橋物太(湯浅町)

水仙のひとかたまりの香りかな

奥 元英(和歌山市)

侘助や会話楽しむ部屋となり

竹中 桃代(由良町)

## 川柳

木本朱夏選

孫等帰りました日常のひとり飯  
谷口 つるみ(和歌山市)

【評】お正月にお孫さん達が帰省したのでしょう。案しかたけれど正直少し疲れましたね。「来て嬉し帰って嬉し」独り暮らしは気ままで贅沢です。

平凡でこのままで良い老いの春

土岐 敦子(和歌山市)

柿たわわ残るテッペン鳥おいで

佐武かすみ(日高川町)

なんとなく夫婦してます五十年

貴多 清治(和歌山市)

明日は晴れ天地返しに鋤手入れ

有本 充(御坊市)

健康のバロメーターかみかん採り

澤崎 幸子(有田市)

ご近所に出来すぎ亭主居て困り

栗山 博成(和歌山市)

歳重ね出来ない事が多くなり

松下 博美(有田川町)

励ましのこぼれ杖に出る元氣

上村八重子(和歌山市)

友人にもらった袖で冬至知る

吉松 陽子(有田川町)

写真館泣く児に何か持たされる

前田か乃子(白浜町)

誕生日速度違反でやってくる

晴亭八太(かつらぎ町)

青空にキリンの首かどクレーン車が

西 辯之丞(紀の川市)

身長を測る時だけ腰のばし

竹内 隆幸(田辺市)

春よ来い夏はゆつくり来ておくれ

根田よしこ(和歌山市)

大掃除アルバム見つけくぎづけに

加山 晴代(紀の川市)

## 短歌

井谷まさみち選

正月にずらり並んだ靴の数  
七草粥すぎぼつんと二つ  
谷口 つるみ(和歌山市)

【評】お正月に子や孫が来て、玄関に沢山の靴が並んだ。大きな靴は頼もしく、小さな靴は可愛い。今、七草粥の過ぎた玄関には自分の履物だけがぼつんと一つだけ残っている。靴の数に焦点を絞って、人の心に感動を与えることに成功した。

柿の実が一番上は神様に

父の言葉を守り採り終ら

訪ね来し故郷の民家みな消えて

迎えられるは変わらぬ山河

終点の二つ手前で途中下車

知らない町へ吐く息白し

草を焼く煙が春を呼ぶ狼煙

高く空へ伸びる里山

おいしいよバナナの黒い斑点が

早く食べてと私見つめる

それなりによく頑張った老夫婦

来季のみかんを目指して生きる

夕方に「ごめん下さい」お客かど

手を拭いつつ出れば息子め

寒風の中で旗振る人のいて

我らのインフラ守られており

「ありがどう」私の好きな言葉です

心に響く感謝の気持

有本ふくみ(和歌山市)

浜田佳世子(美浜町)

下村 十美(美浜町)

吉松 陽子(有田川町)

小田 慶喜(兵庫県)

田口 美鈴(有田川町)

西 辯之丞(紀の川市)

松下 博美(有田川町)

田口 美鈴(有田川町)

西 辯之丞(紀の川市)

里神 賢幸(かつらぎ町)

5月号掲載

(4月発行)

応募メチ

3月10日必着

「俳句 川柳 短歌」では、皆さまの作品を選句・選歌し、広報誌に掲載します。

俳句・川柳・短歌の区別をご記入のうえ、ハガキまたはメールフォームでご応募ください。

### ハガキで応募

〒640-8331 和歌山市美園町5丁目1-1

JAわかやま広報地域対策課「俳句 川柳 短歌」係

※裏面に、俳句・川柳・短歌の区別と作品・住所・氏名・電話番号をご記入ください。

### メールフォームで応募

右の二次元バーコードを読み込み、アクセス先のメールフォーム

にご記入ください。



最近、写真の応募が  
少なくなってきました…。

より多くの皆さまからの  
ご応募をお待ちしております。

あなたの写真が  
広報誌を彩ります！



**だるま夕日**  
[撮影者] 宇和孝仁 [撮影場所] 田辺市天神崎



**華やかな和傘飾り**  
[撮影者] きなこ [撮影場所] 春日神社



**早朝のエビ網漁**  
[撮影者] makaho  
[撮影場所] 串本町



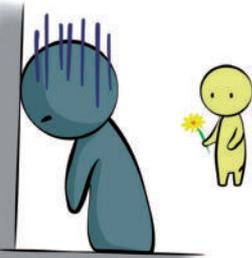
**家族でありだミカン収穫  
の暫しの休憩タイム**  
[撮影者] 森 廉始  
[撮影場所] 湯浅町 栖原



こころのうた  
**人権の詩**  
| 2024入賞作品のご紹介 |  
理事長賞[中学生の部]

「一人じゃない」  
那智勝浦町立宇久井中学校 1年  
畑 葵衣さん

学校に行けなかった  
行きたくても体が動かない  
毎日、毎日動けない  
暗い部屋に一人ぼっち  
学校に行けなかったという罪悪感で  
心が苦しい  
でも、私はふと気がついた  
親は私を心配してくれる  
数少ない友だちも 学校の先生も  
私は思った  
「二人じゃない」と



(公財)和歌山県人権啓発センター  
※学校名・学年は応募時のものです。写真はイメージです。

あなたが撮った自慢の写真、  
見せてください！

JAわかやま広報誌企画

**わかやま映え**

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇ 12月▶1月の写真 ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

このコーナーでは、読者の皆様から頂いた和歌山の魅力が詰まった「わかやま映え」写真を紹介していきます。皆さまお気軽にご応募ください。

**写真大募集**

**応募方法**

- Eメールで応募 ※応募専用メールです。  
応募用メールアドレス：wakayamabae@gmail.com
- メールフォームで応募  
左下の二次元バーコードを読み込み、アクセス先のメールフォームにご記入、送信してください。  
※ 応募の際は右下の二次元バーコードを読み込み、募集要項を必ずご確認ください。



メールフォーム

2~3月の写真を募集します  
締め切りは3月19日(日)です！



募集要項

**お問い合わせ先**

〒640-8331 和歌山市美園町5丁目1-1  
JAわかやま 広報地域対策課「わかやま映え」係  
TEL:073-488-5520 (8:30~17:00 土日祝を除く)



JAわかやまの  
インスタにも  
掲載してらよ





家族で楽しむ  
おいしい一皿

ブロッコリーの栄養を  
逃さず食べる春色パスタ  
ブロッコリーのオイル蒸しと  
しらすの Pasta



目にも体にも優しい、  
野菜の彩りを楽しむ料理

材料・2人分

- ブロッコリー …………… 1株(200g)
- ニンニク …………… 2片(10g)
- 唐辛子(お好みで) …………… 少々
- オリーブ油 …………… 大さじ2
- 水 …………… 2L+300ml
- 塩 …………… 大さじ1+2つまみ
- パスタ …………… 200g
- しらす …………… 20g
- こしょう …………… 少々

アレンジ

- しらすの代わりにアンチョビやたらこを使う
- レモンを搾ったり、粉チーズをかける

レシピ提供●料理研究家 和田麻紀子

作り方

- ① 水(2L)に塩(大さじ1)を入れて沸かしておく。ブロッコリーは小房に分けて、軸は外側をむいて細かく切る。ニンニクはみじん切りにする。
- ② ニンニク、唐辛子、オリーブ油をフライパンに入れて弱火で加熱する。香りが出てきたらブロッコリー、水(300ml)、塩(2つまみ)を入れてふたをし、中火でオイル蒸しにする。10分たったらフライパンの中でブロッコリーをよくつぶし、しらすを混ぜ合わせておく。
- ③ パスタを袋に表記された時間通りにゆで、ゆで上がったら②に絡める。仕上げにこしょうとオリーブ油(分量外)をかけて出来上がり。



ブロッコリーをくたくたになるまでゆでるのがポイントです。味見して塩味が足りなければパスタのゆで汁を少し加えましょう。



Person on the cover introduce

表紙の紹介

みやわき こうが  
宮脇 琥雅くん

- 年齢/11歳
- 地域/海南市

みやわき ふうかちゃん  
宮脇 ふうかちゃん

- 年齢/8歳
- 地域/海南市

- Q 兄妹で野球をしているんですね
- A 【琥雅くん】小学1年生から続けていて、一昨年は県大会、昨年は市内の大会で優勝しました。6年生に上がったらかプテンとして頑張りたい!  
【ふうかちゃん】お兄ちゃんに憧れ2年生から始めました。とても楽しいです!
- Q おうちではどのように過ごしていますか?
- A 【琥雅くん】ゲームをしたり外で遊んだり、父と野球の自主練もしています。  
【ふうかちゃん】工作が大好き。折り紙でシール帳を作ったりするよ。
- Q 行ってみたい場所はありますか?
- A 【琥雅くん】北海道日本ハムファイターズの本拠地、エスコンフィールドです。  
【ふうかちゃん】沖縄の海でバナナボートに乗ったりして遊びたい!
- Q ご両親からふたりに一言
- A とにかくまじめに、健やかに成長し、私たちよりも長生きしてほしいですね。  
★お父さんが作ったミカンと一緒に撮影しました。



撮影場所/海南市下津町



# アrikamo!! JAのこども共済



「わたしでも  
入れるんだ」

給付率 115.6%  
ってマジ?

妊娠中 でも入れる  
って知らなかった

お子さまの夢を支え続けて、こども共済は **契約件数 No.1**



※学資・税金等を支払ったことにより発生する利益は、本協会の利益と見做されません。

**JAのこども共済**

詳しくは特設サイトへどうぞ!

※諸条件は特設サイト内でご確認ください。  
●ご加入にあたりましては、お近くのJAへお問い合わせください。  
●この広告は概要を説明したものです。詳細につきましては「重要事項説明書  
(契約概要・注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」により必ずご覧ください。  
■JA共済ホームページアドレス <https://www.ja-kyosai.or.jp>



「特設サイトをチェック!!」



JAのこども共済「学資応援隊」が  
ママリロコミ大賞2026受賞 10期連続 選ばれました!

25301100253

わかやま地域本部 TEL.073-471-3731  
〒640-8305 和歌山市栗橋642

ながみね地域本部 TEL.073-482-6131  
〒642-0022 海南市大野中718-1

紀の里地域本部 TEL.0736-77-7801  
〒649-6494 紀の川市上野12-5

紀北地域本部 TEL.0736-42-3000  
〒649-7203 橋本市高野口町名古屋922-2

ありだ地域本部 TEL.0737-53-2311  
〒643-0032 有田郡有田川町天満47-1

紀州地域本部 TEL.0738-22-2480  
〒649-1534 日高郡印南町印南2003

紀南地域本部 TEL.0739-23-3450  
〒646-0027 田辺市朝日ヶ丘24-17

みくまの地域本部 TEL.0735-52-0793  
〒649-5331 東牟婁郡那智勝浦町天満122

